

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	4	学校名	仙台市立南材木町小学校	校長名	佐々木 康之
------	---	-----	-------------	-----	--------

- 1 取組のタイトル, テーマ
学校に南の星を咲かせよう♪



2 取組の紹介

本校では「地域の人とのかかわりを大切にする南材の子」を重点目標として日々指導をしています。また児童の自然とのかかわりの実態としては日常的に自然に接する機会は少ないです。しかし、本校には「南材池」という池があり、メダカやホテイアオイを育てています。来年度にはその池が「南材コミュニティ・ビオトープ」となり、より多様な生き物と触れ合うことが期待されています。令和4年度からは南材ビオトープ開設に先立ち、環境委員会が新たに設置され、生き物の世話や花の水やりを常時活動として取り組んでいます。また、エコ・スクール活動にも中心となって取り組みました。

まずは廃棄物企画課からリサイクルプランターを頂きました。そのリサイクルプランターを使って、花の苗を夏・冬の2回植えました。また11月には中学校区の学びの連携事業として「花いっぱい運動」を行いました。地域の方に植えた苗をお渡しし、飾っていただくことで地域にも自然に関わる活動を広めました。



さらに苗は本校中庭に置いています。置き方については児童が創意工夫をし、自分たちのアイデアで飾りました。デザインは本校の指導の方針の合言葉でもある「みなみのほし」を形にしたり、「音楽の南材」と呼ばれていることから音符の形にしたりしました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

活動を通して、花の苗を植えることで自然に対する愛着が段階的に育まれていきました。その結果常時活動として行っていた水やりに関しても役割忘れが少なくなっていき、参加率も高くなっていきました。また環境委員会の児童以外にも中庭の南の星を目を輝かせて見ている様子がありました。また全体として主に中庭のプランターなどを通して生き物についての会話が聞かれるようになり、自然への興味が少しずつ育まれています。

